SIDEXIS XG

Digital Radiography

クイックリファレンスガイド

日本語

The Dental Company sirona

CE
0123

本製品は、医療機器に関する 1993 年 6 月 14 日の医療機器指令 93/42/EEC の規定に準拠した CE マーキングを取得しています。

目次

1 SIDEXIS XG の起動と終了 5

2 検査ワークスペース 6

2.1 画面のレイアウト 6

2.2 SIDEXIS XG ユーザーインターフェイスのコマンドの概要 7

3 操作例 8

3.1 口腔内画像の撮影 8

3.2 パノラマ撮影 / セファロ撮影 /TSA 撮影 9

3.3 口腔内カメラをシロナトリートメントセンターから操作する 10

3.4 保存した画像を開く 12

4 検査の作業 13

4.1 ユーザーインターフェイスのカスタマイズ 14

4.2 操作例 - 画像の取得、分析、保存 16

4.3 操作例 - 保存した検査を開く 18

1 SIDEXIS XG の起動と終了

SIDEXIS XG の起動

起動方法	
プログラムアイコンをダブルクリックして起動します	SIDEXIS
「スタート（start）」ボタンからプログラムアイコンをクリックして起動します スタートボタンは通常、画面の左下隅にあります オペレーティングシステムや設定によって、表示が異なる場合があります	SIDEXIS

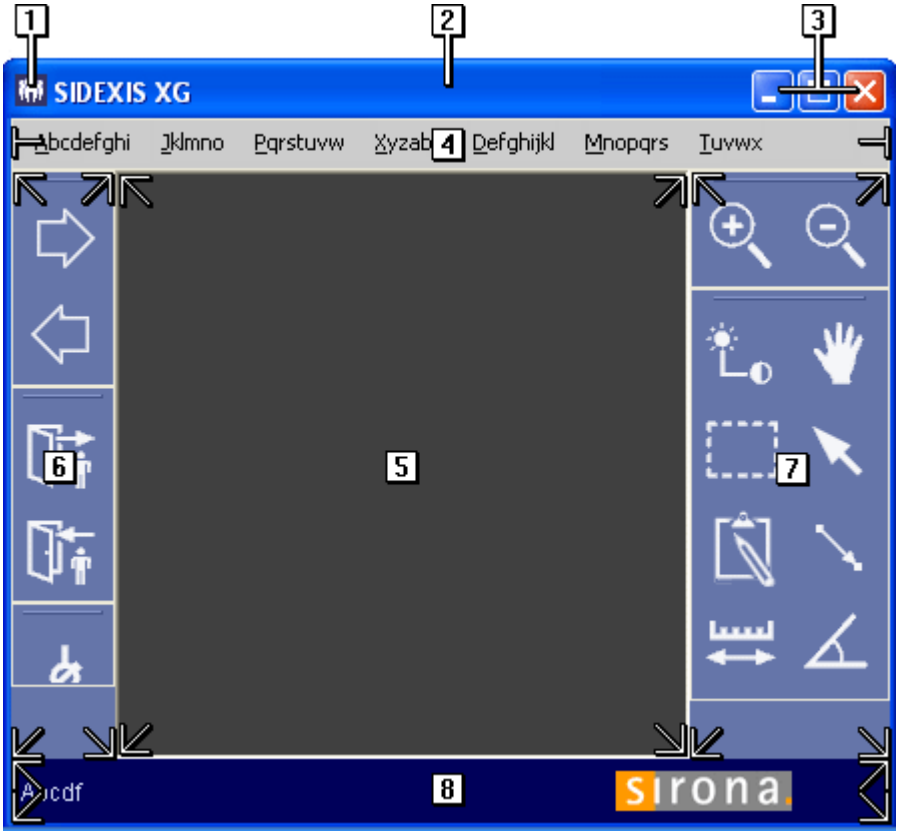
SIDEXIS XG の終了

終了方法	
このボタンをクリックして終了します	
タイトルバーのボタンをクリックして終了します	
ホットキーを使用して終了します	[Alt]+[F4]
メニューバーを使用して終了します	**1.** [E]xam **2.** 終了 [E]

2 検査ワークスペース

2.1 画面のレイアウト

画面の例



領域

1. プログラムウィンドウのシステムメニュー
2. 選択した患者名が表示されるタイトルバー
3. ウィンドウの大きさを調整するボタン
4. メニューバー
5. 検査ワークスペース
6. 管理ツールバー領域
7. 画像処理ツールバー領域
8. ステータスバー

2.2 SIDEXIS XG ユーザーインターフェイスのコマンドの概要

患者登録	拡大	縮小
患者のチェックアウト	輝度とコントラスト調整用のマウスアジャスタ	標準マウスポインタ
撮影 / 口腔内撮影のシステム側の準備	選択画像の輝度を左のスライダで調整します。	選択画像のコントラストを右のスライダで調整します。
撮影 / パノラマ撮影 / セファロ撮影 /TSA 撮影のシステム側の準備		
撮影 /3D 撮影のシステム側の準備		
口腔内ビデオ撮影の開始	画像の反転	擬似カラー表示
画像データベースからの表示する画像の選択	コントラストの最適化フィルタ	レリーフ表示フィルタ
画像の詳細と所見	ノイズ低減フィルタ	シャープネスフィルタ
画像を閉じる	直前のフィルタ操作を取り消します。	オリジナル画像を復元します。
画像の印刷	選択画像を左に 90 度回転します。	選択画像を右に 90 度回転します。
画像の送信	画像を拡大します。	選択画像を最大化します。
プログラムの変更	検査ワークスペースに画像を概要で表示します。	検査ワークスペースに画像を解剖学的位置に従って表示します。
プログラムの終了		

3 操作例

3.1 口腔内画像の撮影

適用範囲

注記
この機能は SIDEXIS XG VIDEXIS ビデオソフトウエアでは利用できません。

ステップ

1. 左のボタンを押します。
   患者（新規 / 登録済）がシステムに登録されます。

注記
SIDEXIS タイトルバーの患者名を確認してください。

2. 左のボタンを押します。
   PC 側での口腔内撮影準備が整いました。

3. 画像詳細ダイアログボックスが表示されます（工場出荷時設定）。撮影する歯牙番号を入力します。
4. プレパレーションを準備します。
5. X 線センサーの位置決めをします。
6. システムの準備が整っているか確認します。
7. X 線照射を開始します。

X 線画像が撮影されます。

8. **オプション :** 画像詳細ダイアログボックスを開き所見を入力します。
   左のボタンを押します。

9. **オプション :** 画像と所見を共に印刷します。
   左のボタンを押します。

10. 左のボタンを押します。
    画像が閉じます。

11. 左のボタンを押します。
    患者がチェックアウトされます。

3.2 パノラマ撮影 / セファロ撮影 /TSA 撮影

適用範囲

注記
この機能は SIDEXIS XG VIDEXIS ビデオソフトウエアでは利用できません。

ステップ

1. 左のボタンを押します。
   患者（新規 / 登録済）がシステムに登録されます。

注記
SIDEXIS タイトルバーの患者名を確認してください。

2. 左のボタンを押します。
   PC 側でのパノラマ撮影 / セファロ撮影 /TSA 撮影準備が整いました。
3. ORTHOPHOS DS または ORTHOPHOS DS セファロのシステム設定を行います。
4. プレパレーションを準備します。
5. 患者の位置決めをします。
6. システムの準備が整っているか確認します。
7. X 線照射を開始します。

X 線画像が撮影されます。

8. **TSA のみ：**画像詳細ダイアログボックスが表示されます（工場出荷時設定）。
   ダイアログボックスに所見を入力します。

   パノラマ撮影とセファロ撮影のみのオプション：
   画像詳細ダイアログボックスを開いて所見を入力します。
   左のボタンを押します。

9. **オプション：**画像と所見を共に印刷します。
   左のボタンを押します。

10. 左のボタンを押します。
    画像が閉じます。

11. 左のボタンを押します。
    患者がチェックアウトされます。

3.3 口腔内カメラをシロナトリートメントセンターから操作する

概略

SIDEXIS と SIVISION PC ソフトウエアを使用して、シロナトリートメントセンターから口腔内カメラの操作や画像の表示ができます。マウスやキーボードの操作は必要ありません。

注記
トリートメントセンターの種類や SIVISION の構成によって操作手順が異なるため、詳細は個別の取扱説明書を参照してください。

シロナトリートメントセンターの操作手順を次に説明します。

ステップ

1. 左のボタンを押します。
   患者（新規 / 登録済）がシステムに登録されます。

注記
SIDEXIS タイトルバーの患者名を確認してください。

2. カメラをホルダーから外します。

ビデオウィンドウが開きます。

カメラのライブ画像が表示されます。

3. カメラの位置決めをします。
4. フットスイッチを短く踏み、ライブ画像と静止画像を切り替えます。
   - ライブ画像→静止画像
   - 静止画像→ライブ画像
5. 次のいずれかの方法で静止画像を保存します。
   a. フットスイッチを長押しする
   または
   b. スプレー機能を起動する
6. カメラをホルダーに戻します。
   ビデオ画面が閉じます。

保存した静止画像が検査ワークスペースに表示されます。

7. **オプション :** 画像詳細機能を起動し、所見を入力または表示します。
   左のボタンを押します。

8. **オプション：**画像と所見を共に印刷します。
   左のボタンを押します。

9. 左のボタンを押します。
   画像が閉じます。

10. 左のボタンを押します。
    患者がチェックアウトされます。

3.4 保存した画像を開く

ステップ

1. 左のボタンを押します。
   患者（新規 / 登録済）がシステムに登録されます。

2. 左のボタンを押します。
   画像選択ダイアログボックスが表示されます。

3. **オプション :** 画像詳細ダイアログボックスを開いて、所見を入力または表示します。
   左のボタンを押します。

4. **オプション :** 画像と所見を共に印刷します。
   左のボタンを押します。

5. 左のボタンを押します。
   画像が閉じます。

6. 左のボタンを押します。
   患者がチェックアウトされます。

4 検査の作業

概略

従来のフィルムを使ったX線撮影システムでは、ユーザーがレントゲン写真の特定のエリアを強調したりメモを取ったりするために、粘着ラベルやフェルトペンを使用しています。

画像はX線の表示ボックス上に手動で位置付けられた後、他の画像との比較や測定、写真（歯列矯正）との重ね合わせを行ってから封筒に入れて専門家に送られます。

従来のフィルム撮影における作業手順は、SIDEXIS XG のユーザーインターフェイスに置き換えられます。

すべての検査における作業および診断処理が、検査ワークスペースに表示されます。

> このワークスペースは「検査（Exam）」と呼ばれ、X線画像を表示、保存および管理します。

各画像処理操作は「検査（Exam）」として保存できます。

注記

目的に合わせてユーザーインターフェイスをカスタマイズして使用されることをお勧めします。本文のスクリーンショットでは、カスタマイズされたユーザーインターフェイスを使用しています。

細目

検査の作業 - 目次	ページ
ユーザーインターフェイスのカスタマイズ	14
操作例 - 画像の取得、分析、保存	16
操作例 - 保存した検査を開く	18

4.1 ユーザーインターフェイスのカスタマイズ

概略

ユーザーインターフェイスは、次の 2 つの手順でカスタマイズできます。

1. 新規ツールバーの作成
2. ツールバーの置き換え

4.1.1 新規ツールバーの作成

手順は次のとおりです。

設定ダイアログボックスを開く

1. メニューバーの任意の位置にマウスポインタを移動します。
2. マウスの右ボタンをクリックします。

コンテキストメニューが表示されます。

3. 「カスタマイズ（Customize）...」メニュー項目をクリックします。

「カスタマイズ（Customize）」設定ダイアログボックスが表示されます。

ツールバーの作成（例）

1. 「ツールバー（Toolbars）」タブを選択します。
2. 「新規（New）」ボタンを押します。
3. ツールバーの名称としてテキストボックスに「検査（Exam）」と入力し、「OK」ボタンで確定します。

「検査（Exam）」という名称の空のツールバーが表示されます。

4. マウスの左ボタンを押したまま、設定ダイアログボックスの外側に「検査（Exam）」ツールバーをドラッグします。

ツールバーに機能を割り当てる

1. 「コマンド（Commands）」タブを選択します。

「カテゴリー（Categories）」リストボックスから、「検査（Exam）」を選択します。

注記

「カテゴリー（Categories）」リストボックスに表示される項目は、メニューバーの項目と一致します。各メニューのコマンドは、全て「コマンド（Commands）」リストボックス内に表示されます。

2. 「コマンド（Commands）」リストボックスの「新規検査（ExamNew...）」コマンドをクリックします。マウスの左ボタンを押した状態で検査（Exam）」ツールバーまでドラッグし、マウスボタンを放します。

注記

「コマンド（Commands）」リストボックスの「新規検査（ExamNew...）」コマンドを表示するには、リストボックスをスクロールバーでスクロールしてください。

3. 上記のステップを繰り返し、ツールバーに次のコマンドを移動します。

- 「選択（Choose）」
- 「閉じる（Close）」

このスクリーンショットのようにツールバーが画面のマージンに表示されます。

設定ダイアログボックスを閉じる

「閉じる（Close）」ボタンをクリックして、設定ダイアログボックスを閉じます。

4.1.2 ツールバーの置き換え

開く（Open）ツールバーを非アクティブにする

1. メニューバーの任意の位置にマウスポインタを移動します。
2. マウスの右ボタンをクリックします。

コンテキストメニューが表示されます。

3. 「開く（Open）」コンテキストメニューをクリックして非アクティブにします。

プログラムウインドウの左マージンの「開く（Open）」ツールバーが非表示になります。

検査（Exam）ツールバーをウインドウマージンに置く

1. マウスポインタを「検査（Exam）」ツールバーのタイトルバーに移動します。
2. マウスの左ボタンを押した状態で、「検査（Exam）」ツールバーを「開く（Open）」ツールバーのあった位置まで移動します。
3. 「検査（Exam）」ツールバーに置き換わります。

このスクリーンショットのように「検査（Exam）」ツールバーがマージンに表示されます。

4.2 操作例 - 画像の取得、分析、保存

概略

未登録の患者を例に、口腔内画像の取得、診断の入力、検査全体の保存方法について説明します。

注記
必ず本書の手順に従ってください。

患者の登録

1. 左のボタンを押します。
   「患者の選択（Patient selection）」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「患者（Patient）」リストボックスで患者を選択します。

「検査（Exam）」リストボックスに「新規（New）」が表示されます。

新規の患者を登録する場合は、「新規（New）」をクリックします。

3. 「OK」ボタンをクリックして選択を確定します。

患者が登録され、空のワークスペースが表示されます。

注記
SIDEXIS タイトルバーの患者名を確認してください。

X 線画像の取得

1. 左のボタンを押します。
   PC 側での口腔内撮影準備が整いました。
2. 画像詳細ダイアログボックスが表示されます（工場出荷時設定）。撮影する歯牙番号を入力します。
3. プレパレーションを準備します。
4. X 線センサーを取り付けます。
5. システムの準備が整っているか確認します。
6. X 線照射を開始します。

X 線画像が取得され、検査ワークスペースに表示されます。

診断の入力

1. 画像をマウスでクリックして選択します。
2. マウスの右ボタンをクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
3. 「プロパティ（Properties）」機能を選択します。

「画像の詳細（Describe image）」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「所見（Findings）」テキストボックスに所見を入力します。
5. 「クイックビュー (QuickView)」チェックボックスをオンにします。
6. 「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

「画像の詳細（Describe image）」ダイアログボックスが閉じます。

所見の位置変更

所見は画像の左上に黄色で表示されます。

1. 所見の上にマウスのポインタを移動します。
2. マウスの左ボタンを押したまま、所見を画像領域の外側までドラッグします。

対応する画像と所見は点線で結ばれます。

検査を閉じる

1. 左のボタンを押します。

確認ダイアログボックスが表示されます。

2. 「はい（Yes）」ボタンをクリックして確定します。

「名前を付けて保存（Save exam as）」ダイアログボックスが表示されます。

任意の検査名が表示されます。検査名は変更できます。

3. 「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

検査が保存され、画面が閉じます。

患者のチェックアウト

4. 左のボタンを押します。

患者がチェックアウトされます。

4.3 操作例 - 保存した検査を開く

4.3.1 ケース 1 - 未登録患者の場合

ステップ

1. 左のボタンを押します。
   「患者の選択（Patient selection）」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「患者（Patient）」リストボックスで患者を選択します。
3. 「検査（Exam）」ウィンドウで「既存（Existing）」オプションを選択します。

保存されたすべての検査が表示されます。

4. マウスでクリックして検査を選択します。
5. 「OK」ボタンをクリックして選択を確定します。

患者が登録され、選択した検査が検査ワークスペースに読み込まれます。

4.3.2 ケース 2 - 登録済患者の場合

ステップ

1. 左のボタンを押します。
   「検査の選択（Select exam）」ダイアログボックスが表示されます。

保存されたすべての検査が表示されます。

2. マウスでクリックして検査を選択します。
3. 「OK」ボタンをクリックして選択を確定します。

選択した検査が検査ワークスペースに読み込まれます。

技術的改良のため仕様を変更することがあります。

© Sirona Dental Systems GmbH 2003 - 2012
D 3407.202.01.05.22 05.2012
Sprache: japanisch
Ä.-Nr.: 115 040
Printed in Germany
Imprimé en Allemagne

Sirona Dental Systems GmbH

Fabrikstrasse 31
64625 Bensheim
Germany
www.sirona.com

米国：
Sirona Dental Systems LLC
4835 Sirona Drive, Suite 100
Charlotte, NC 28273
USA

注文番号 **60 87 840 D 3407**